

令和5年4月3日

## 令和5年度サマージャンボ及びハロウィンジャンボ特設売場募集要領

一般財団法人全国市町村振興協会

### 1 目的

サマージャンボ宝くじ及びサマージャンボミニ（以下「サマージャンボ」という。）またはハロウィンジャンボ宝くじ及びハロウィンジャンボミニ（以下「ハロウィンジャンボ」という。）あるいはその両方を販売する臨時の宝くじ売場（以下「特設売場」という。）を設置することにより、サマージャンボ及びハロウィンジャンボの販売促進を図ることを目的とする。

### 2 内容

本募集は、宝くじの受託銀行等であるみずほ銀行の協力を得ながら、一般財団法人全国市町村振興協会（以下「全国協会」という。）及び都道府県市町村振興協会（以下「地方協会」という。）が連携して行うもので、次の発売期間中（以下「発売期間中」という。）に、常設の店舗等に特設売場を設置し、サマージャンボ又はハロウィンジャンボあるいはその両方を販売する団体（以下「申込団体」という。）を募集する。

- (1) サマージャンボ 令和5年7月 4日（火）～ 8月 4日（金）の32日間
- (2) ハロウィンジャンボ 令和5年9月20日（水）～10月20日（金）の31日間

### 3 特設売場の要件

#### (1) 基本事項

- ア 販売方法は、一般の宝くじ売場と同様であるが、当せん金の支払いは行わないこと。
- イ サマージャンボ及びハロウィンジャンボともに、ジャンボ宝くじ及びジャンボミニの2種類の宝くじを取り扱わなければならないこと。
- ウ 希望する特設売場予定地の「周辺」に、一般の宝くじ売場がないこと。
- エ 宝くじ証票の希望枚数は、サマージャンボ又はハロウィンジャンボごとに、500枚以上で申込むこと（下記5の（2）ア参照）。
- オ 特設売場が終了し、宝くじ証票が売れ残った場合には、みずほ銀行が指定する「発送期限」「発送方法」「荷作方法」を厳守のうえ、残券（宝くじ証票の売れ残り）をみずほ銀行に返却しなければならないこと。
- カ 「売捌手数料（販売手数料のことで、宝くじ証票1枚300円当たり21円）」を受け取れること。

#### 【500枚販売した場合】

売捌手数料 21円 × 500枚 = 10,500円

※ 上記には、消費税を含んでいない。

※ 宝くじ証票の送料は、みずほ銀行負担。

(2) 申込団体の要件

次のいずれかに該当する場合は、特設売場の要件を具備することとする。

ア 市役所又は町村役場の敷地内において、事業年度の全期間を通じて営業されている常設売店等を運営する団体であること。

イ 事業年度の全期間を通じて営業されている物産店等を運営する「第3セクター」「社団・財団等の公益を目的とする団体」及び「指定管理者」であること。

(3) 特設売場予定地の禁止要件

次のいずれかに該当する場合は、特設売場の要件を具備しないこととする。

ア 記念行事等のイベント開催日のみを販売日とし、発売期間中の大部分を特設売場として営業できない設置場所であること（上記(2)のいずれかに該当し、発売期間中の大部分を通して特設売場として営業できる申込団体が、記念行事等のイベントに出張して販売する場合を除く。）。

イ 特設売場予定地が、競馬、競艇、競輪等の公営競技に関連する施設であること。

4 前年度販売実績がある場合における特設売場採択基準の適用

前年度（令和4年度）に特設売場を設置していた申込団体については、みずほ銀行が定めた次の基準（ア及びイ）の両方に該当する場合のみ、特設売場に採択される。

なお、前々年度（令和3年度）以前の販売実績が次の基準に該当しなかったことにより、1度申込み不可となった団体については、当年度の特設売場に申込みすることはできるが、販売実績を向上させるための積極的な取組みを説明しなければならない（下記5の（1）イ参照）。

また、過去の販売実績が、次の基準に2度該当しなかった団体については、今後、特設売場に採択されることはない。

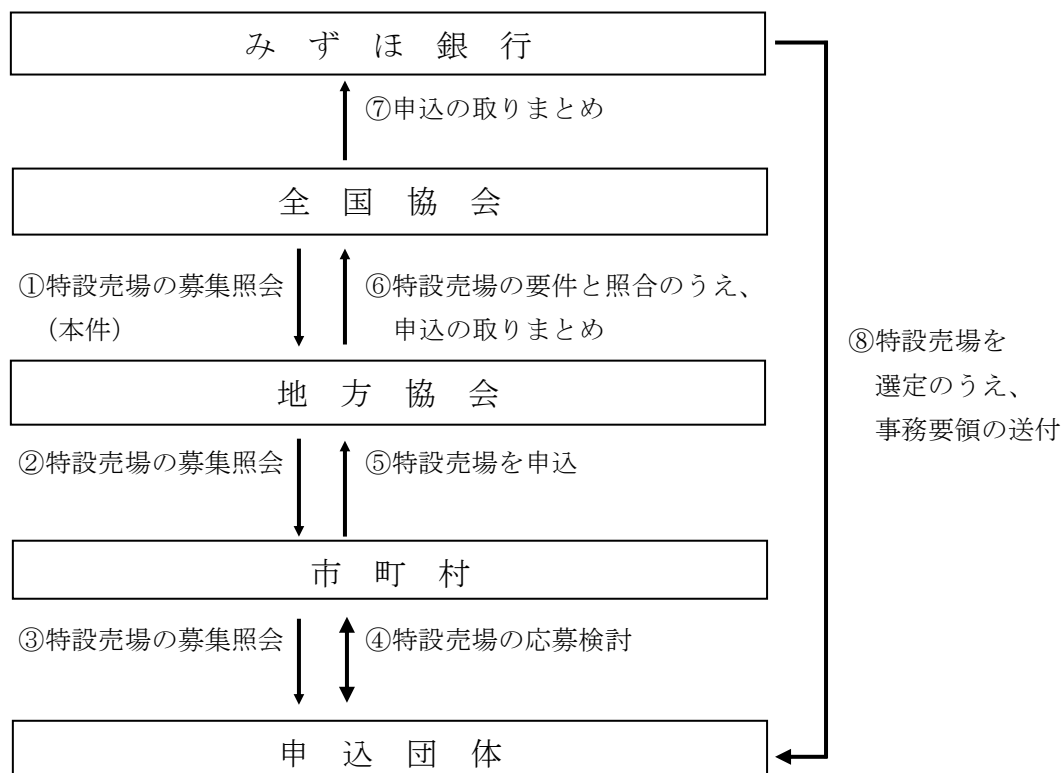
【特設売場採択基準】

ア 前年度販売実績の消化率（販売実績枚数÷申込枚数）が25%以上であること。

イ 前年度販売実績の販売枚数が500枚以上であること。

※ 前年度販売実績とは、ジャンボ宝くじ及びジャンボミニの合計であり、サマージャンボまたはハロウィンジャンボごとに比較されるものである（サマージャンボまたはハロウィンジャンボいずれか一方で採択される場合もある。）。

## 5 事務手続



### <上記事務フローに係る補足説明及びスケジュール>

- ⑤ サマージャンボまたはハロウィンジャンボあるいはその両方の特設売場に係る申込団体から応募があった市町村は、令和5年5月8日（月）までに、**別紙1**「特設売場申込書」（以下「申込書」という。）を地方協会に提出する。

ただし、ハロウィンジャンボのみの特設売場に係る申込団体からの応募が追加であった場合は、7月3日（月）まで応募締切日を延長できるとし、その応募があった市町村は、**別紙2**「ハロウィンジャンボ特設売場申込書」（以下「ハロウィン申込書」という。）を地方協会に提出する。

なお、1市町村につき複数の特設売場を申込むことも可能である。

- ⑥ 地方協会は、申込書の提出があった場合、上記3の「特設売場の要件」及び上記4の「前年度販売実績がある場合における特設売場採択基準の適用」を確認のうえ、当該申込書の写しを添付して、令和5年5月10日（水）までに、**別紙3**「特設売場申込集計書」（以下「集計書」という。）を全国協会に提出する。

また、後日、ハロウィン申込書の提出があった場合も、同様に確認のうえ、当該ハロウィン申込書の写しを添付して、7月5日（水）までに、集計書の差し替えを全国協会に提出する。

- ⑦ 全国協会は、申込書の写しを取りまとめ、令和5年5月12日（金）までにみずほ銀行に提出する。

また、ハロウィン申込書の提出があった場合は、ハロウィン申込書の写しを取りまとめ、7月7日（金）までにみずほ銀行に差し替えを提出する。

- ⑧ みずほ銀行は、特設売場に選定した申込団体（以下「特設売場設置団体」という。）宛に、サマージャンボは令和5年6月上旬（予定）に、ハロウィンジャンボは8月上旬（予定）に、事務手続及び具体的スケジュールを記載した「事務要領」をそれぞれ送付のうえ、個別に対応する。

なお、特設売場設置団体で複数の特設売場が選定された場合でも、「事務要領」は特設売場設置団体宛に1部送付される。

また、みずほ銀行と特設売場設置団体の「販売店契約」については、サマージャンボ及びハロウィンジャンボそれぞれ締結する必要がある。

（1）申込書に係る留意事項

ア 申込書またはハロウィン申込書の記入に際しては、「特設売場申込書の記入要領」を参照のうえ、正確に記入すること。

イ 前々年度（令和3年度）以前の販売実績が特設売場採択基準に該当しなかったことにより、1度申込み不可となった団体が、申込書またはハロウィン申込書を記入する場合、別紙4「販売実績を向上させるための積極的な取組みについて」も地方協会に提出すること。

ウ サマージャンボ及びハロウィンジャンボそれぞれの「店頭のぼり」について、全国協会から特設売場設置団体に提供するので、希望する特設売場設置団体は、「特設売場申込書の記入要領」を参照のうえ、申込書またはハロウィン申込書に記入すること。

ただし、前年度も特設売場設置団体であった場合には、棒及びスタンドの保管をお願いしているところであり、それらを再利用するものとして「のぼり」のみの申込みとすること。

なお、両方（サマージャンボ及びハロウィンジャンボ）の特設売場設置団体の場合は、サマージャンボの際に提供した棒及びスタンドを続けて利用し、ハロウィンジャンボは、「のぼり」のみの照会とすること。

（2）宝くじ証票の希望枚数

特設売場設置団体となって、みずほ銀行に宝くじ証票の希望枚数を申込む際には、次のことに注意する。

ア 希望枚数は、ジャンボ宝くじ及びジャンボミニ合わせて500枚以上で申込むこととし、残券が多量に発生しないよう十分に精査すること。

なお、新規出店する場合は、上限2,000枚までとすること。

イ 希望枚数の単位は、宝くじごとに100枚単位とすること。

※ 宝くじ証票の希望枚数が500枚以上であることは、みずほ銀行から一般の宝くじ売場に納品する最低ロット数が、原則として500枚であるから。

ウ 発売期間中に売切れた場合でも、宝くじ証票の追加配券は受け付けられないこと。

【1,000枚を希望した場合の例】

宝くじの種類	発売額比率	連番・バラの内訳比率	
		連 番	バ ラ
ジャンボ宝くじ	700枚	300枚	400枚
ジャンボミニ	300枚	100枚	200枚